「九州圏広域地方計画中間整理」の構成図

第１章　計画策定の意義と計画の性格

１．計画策定の意義　　２．計画の性格

第２章　九州圏における現状と課題

第１節　九州圏の位置づけと圏土構造の特徴

１．東アジア、近接地域等に開かれた九州圏
２．基幹都市圏が適度に分散し都市と自然が近接する圏土構造
３．九州圏全体を牽引し次世代を担う産業の集積
４．離島を抱く外洋に囲まれ、急峻な山地と急流河川、豊かな森林・水資源に恵まれた自然環境

第２節　21 世紀前半の経済社会情勢の転換と九州圏の課題

１．グローバル化の進展と東アジアの経済発展への対応
２．本格的な人口減少・少子高齢化の進行と九州圏の自立的な発展
３．安全・安心、環境・景観等への関心の高まりと地球温暖化等への対応
４．価値観、ライフスタイルの多様化と新たな活動主体の成長

第３章　新たな九州像

第１節　21 世紀前半における新たな発展の基本理念

①東アジアとともに発展し、我が国及び世界の人々が訪れ、暮らし、働き、投資したい圏域として活力と魅力あふれる九州圏となっていくこと
②豊かな自然と魅力ある都市の利便性を享受できる暮らしと多様な価値観に応じて多彩な生活や就業を実現する九州圏となっていくこと

第２節　新たな九州像

１．東アジアの成長と連動し自立的に発展する九州圏の形成
２．豊かな自然と都市的利便性を享受し多様な活躍の場を創出する九州圏の形成
３．安全・安心で美しく誇りが持てる九州圏の形成

第３節　新たな九州像を描く期間　今後概ね 10 年間

第４章　新たな九州像の実現に向けた戦略目標

第１節　戦略展開の基本的な考え方

１．九州圏の自立に向けた圏土の基礎づくり
　三層からなる自立圏の創造／広域的な発想の下での多様な連携による地域力の向上
２．多様な主体の参加・連携と担い手の確保

第２節　新たな九州像の実現に向けた戦略目標

１．東アジアへのフロントランナーとして発展する九州圏の形成
２．基幹都市圏を核とした多極型圏土構造と九州圏の一体的な発展
３．災害・環境ハザード最前線における安全・安心で美しい九州圏の形成
４．基幹・拠点都市圏と多自然居住地域の交流による都市自然交流圏の形成
５．生活中心都市を核とした安心でゆとりある基礎生活圏の形成
６．離島・半島、中山間地域等の地理的制約を克服する豊かな定住環境の形成
７．九州圏の各地域の個性を活かした先導的な地域づくり

第５章　戦略目標に沿った広域連携プロジェクト（概要）

第1節　東アジアへのフロントランナーとして発展する九州圏の形成

1．九州圏の個性と魅力を創出する国際交流・協力の推進
2．東アジア（環黄海）経済圏の確立とアジア規模の知的拠点の形成
3．九州圏の持続的な成長を実現する成長型・牽引型産業群の形成
4．東アジアへの近接性等を活用したフード・観光アイランドの形成
5．新たな発展を実現する東アジア、広域ブロックとの交流・連携の推進
6．身近になる近畿圏等との観光・交流の推進

第2節　基幹都市圏を核とした多極型圏土構造と九州圏の一体的な発展

1．多極型圏土構造の極となる個性的で魅力ある基幹都市圏の形成
2．文化・知識集約化による創造的都市の形成と多彩な人材の育成
3．九州圏の一体的な発展を実現する基幹都市連携軸の形成

第3節　災害・環境ハザード最前線における安全・安心で美しい九州圏の形成

1．減災の視点も重視した災害に強い地域づくり
2．安全で安心な暮らしを支える広域セーフティネットワークの形成
3．美しく自然豊かな環境・景観に親しみ継承していく地域づくり
4．我が国を先導する環境負荷の少ない環境先進圏の形成
5．地球環境に優しく持続可能な省CO2・エネルギー先進圏の形成

第4節　基幹・拠点都市圏と多自然居住地域の交流による都市自然交流圏の形成

1．広域的な都市的利便性を実現する基幹・拠点都市圏の形成
2．水・緑・食・安全等の互恵関係を実現する都市自然交流軸の形成

第5節　生活中心都市を核とした安心でゆとりある基礎生活圏の形成

1．生活支援機能の維持・向上を実現する基礎生活圏の形成
2．誰もが安心とゆとりを実感できる子育て・生活環境の形成
3．生活活動に密着した地域産業の新たな展開
4．生活・文化・活動等の一体化を促進する生活文化交流軸の形成

第6節　離島・半島、中山間地域等の地理的制約を克服する豊かな定住環境の形成

1．地理的制約を克服する生活イノベーションの展開
2．離島地域における海洋性気候等に恵まれた豊かな定住環境の形成

第7節　九州圏の各地域の個性を活かした先導的な地域づくり

1．恵まれた地域資源を活用した先導的で創造性あふれる地域づくり
2．多様な活動主体を基軸とした地域づくりと地域の担い手育成

第６章　計画の効果的な推進

1．投資の重点化・効率化と総合的なマネジメント　　2．計画の推進体制　　3．他の計画等との連携